SUPERBIKE EXPRESS--

EXtra, EXpert and EXtreme

MFJ Superbike Round1 **SUPERBIKE RACE in TSUKUBA** 3-4 April 2010

JSB1000
ST600
J-GP2
J-GP3
GP-MONO

開幕!! 2010 SUPERBIKE RACE

2010 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦
スーパーバイクレース in 筑波

亀谷長純 ポールポジション

QUALIFYING PRACTICE

OFFICIAL RESULTS
REPORT & INTERVIEW

©Motorcycle Federation of Japan 2010

2年連続優勝を狙う筑波マイスター亀谷長純!
好調・高橋巧がベテラン勢を打ち破るか!?
伊藤真一の筑波ラストランにも注目!!

若手ナンバー1と言われる高橋巧が2番手グリッドを確保

フル参戦のチャンスを得て、タイトル獲りを狙う秋吉耕佑が3番手につけた

JSB1000 All Japan Road Race Championship / J-GP2 All Japan Road Race Championship

QUALIFYING PRACTICE REPORT&INTERVIEW

待ちに待った全日本ロードレース選手権開幕戦が茨城県・筑波サーキットで始まった。前週に3日間、行われた合同テストでは、2日間は雨、最終日のみ晴れたものの、ドライでの走り込みが絶対的に足りない状況であった。開幕戦は、特別スポーツ走行が木曜日に設けられ、通常よりも一日早く走り出したものの金曜日が雨となり、思うようにセッティングを詰められないでいるライダーがほとんどという状況だった。

土曜日に行われた公式予選でも、各ライダーは決勝を見据え、マシンをセットアップしながらのタイムアタックとなった。その中でも、着実にタイムを詰めていった亀谷長純が56秒093をマークし、ポールポジションを獲得した。亀谷は、合同テストではウエットのみの走行となっていたが、レースウイークに入り、最初の走行となった木曜日に56秒フラットをマーク、ウエットコンディションとなった金曜日もトップタイムを記録し、3日間、常にトップにつけている。S字コーナーからヘアピンへのアプローチは誰よりもスムーズで、その走りはライバルも舌を巻く。

「予選ではタイヤセレクトをしながらのアタックだった。ベストタイムを出したのは決勝で使おうと思っているタイヤなので、スタートから前に出てレースを引っ張れるようにしたいですね。ロングランはできていませんが、予選中に18周できているし、タイヤもよくなっているのでレース終盤でも勝負できると思います。ただ理想は逃げ切りですけれどね(笑)」と亀谷。

2番手には、今年ハルク・プロに移籍、その緒戦となる高橋巧が56秒191でつけた。

「最後にアタックしたのですが、リアが流れてしまいました。自分のミスですね。その周がベストだったので、それがなければ55秒台には入っていたはず。昨年も課題にしていましたが、スタートを決めて序盤で離されないようにしたいですね。スタートから前に行ければ一番いいんですけど」と高橋。

フロントロウ、イン側に着けたのは秋吉耕佑だった。秋吉もドライコンディションで走れていなく、マシンがなかなか決まっていない。予選中も何度もピットインしてはセッティングを詰めていたが、持ち前の韋駄天ぶりは発揮できずに終わっている。

今シーズン限りでJSB1000クラス卒業を表明している伊藤真一は、2列目4番手グリッドからスタートする。昨年、55秒142という驚速タイムをマークしていた伊藤だが、今回はセットを詰め切れていないと言う。だが、決勝に向け戦える手応えは感じており、JSB1000で最後の筑波に臨む。

ディフェンディングチャンピオンの中須賀克行は、3月8日の鈴鹿テストで転倒、痛めた右肩が全快ではなく、どうしてもライディングに影響が出てしまうという。それでも56秒台に入れ意地を見せた。

カワサキのエース柳川明はサスペションの仕様が変わり、ドライの走行時間がもっと欲しいとコメント。ただレースになれば“ガンガン行く!”と攻めの走りを見せてくれそうだ。

レースはダンロップを履く亀谷がスタートダッシュをかけ、それに誰が、どこまでついて行けるかでレース展開が決まってくる。中須賀も身体の状態は厳しいがトップ争いに絡んでくるはずだ。混戦から抜け出すのは果たして? 開幕戦のウイナーの座は??

新たに始まったJ-GP2クラスは、JSB1000クラスとの混走で行われ、ST600のキング・小西良輝を始め、GP250チャンピオンの宇井陽一、ST600からスイッチした生形秀之、バーニングブラッドに移籍した高橋江紀の4台がエントリー。今のところ、どのライダーもスリックタイヤに合わせたセッティングを模索している状態。その中で小西が58秒134をマークし、クラストップ、総合14番手グリッドにつけている。

[佐藤 寿宏]

新設されたJ-GP2クラスは、小西良輝が58秒1をマークして14番手

Pole Position 亀谷 長純 0'56.093

『事前テストは雨で路面温度も低く、いいテストができなかったので、不安な気持ちでレースウイークを迎えることになった。テストができてない中でのレースウイークでしたが、木曜日はいい感じで走れていた。昨年のトップタイムが55秒1だったから、55秒台に入れないとポールポジションは取れないだろうと思っていた。他のクラスではレコードタイムが出ているので、JSBはみんな伸び悩んでいるのかな。決勝はなんとか前に出ていきたい。ここは抜きどころがないのでスタートからダッシュするだけですね』

J-GP2 All Japan Road Race Championship

Pole Position 小西 良輝 0'58.134

『セットアップが進むにつれ方向性は見えてきているが、事前テストはもてぎと筑波で各2日間テストしただけで、ドライでは実質1日のみ。まだ試行錯誤しながら各セッションごとに進めている状態です。監督との間では58秒を切ろうという目標だったが、実際走ってみたらギャップがあった。JSBとはアベレージで約2秒の差があるので、決勝ではJSBにラップされないのが目標。最初のレースなので、まずはきちっと完走してGP2のパフォーマンスを証明したい。GP2が単独開催できる台数に増え、今後Moto2への登竜門になるようなクラスになってくれたらうれしいですね』

QUALIFYING PRACTICE
REPORT&INTERVIEW

各クラスのポールシッター。(左から)GP-MONO小室 旭、ST600新垣 敏之、J-GP3鎌田 悟、J-GP2小西 良輝、JSB1000亀谷 長純

新垣敏之がダントツのタイムでP.P.獲得 ピレリ勢が上位独占

Pole Position 新垣 敏之 *0'58.235*

『昨年はぶっつけのレースだったので今回はせめて早く準備しようと、YSP茅ヶ崎からバイクを借りて出場した3月のチャレンジカップで58秒後半が出ていた。ピレリタイヤは昨年も履いていたが、扱いのよさやコントロール性に、ようやくみんなが気づいてきたかな。乗っていて乗りごこちがいいというか、攻めている感じはしないのにタイムが出る、滑る挙動を教えてくれるわかりやすいタイヤだね。決勝は荒れると思うけど、豊田選手はチャレンジカップを走っているし、岩崎兄弟はボクのスクールに来ているので一緒に走ったことがある。あとは中上選手、山口選手という顔ぶれですか。決勝が楽しみですね』

鎌田悟が初ポール 大久保光、篠崎佐助とユースが続く

Pole Position 鎌田 悟 *1'00.888*

『今までポールポジションどころかフロントロウにも並んだことがないし、タイム的にみてもポールポジションの実感がない。(レギュレーションで)今年は今までより車重が7キロ増えたので、トップのマシンはそれだけウエイトを積まなくてはならず足回りなどのセッティングに時間をとられていたようだった。ボクのはもともと軽量化されてないのでウエイトも2キロですんでいるぶん、セットアップに要する時間が少なく走りに集中できた。スタートからペースを上げて逃げ切れるようなレース展開ができれば理想ですが、決勝ではみんなタイムを上げてくると思うので、もっと頑張らないといけないですね』

P.P.の小室旭 僅差で迫る藤井謙汰 決勝はマッチレース!?

Pole Position 小室 旭 *1'01.347*

『ポールポジションはもちろん狙っていました。GP-MONOのテストはできていないけれど、去年の終わりから筑波S80に出ている。今年は4サイクルの150ccで出場し、車両をテストするために走り込んだので、いつもと比べてバイクに乗る回数が多かった。今年はリアサスペンションを変えたので、探りながらテストしていました。予選では1分01秒を切ることが目標でしたが、方向性も決まってタイムを出そうという時に段取りをミスしてしまい目標タイムには届きませんでした。思ったより(藤井)謙汰のタイムがよかったけれど、アベレージはぼくのほうがいいと思う。他はついて来ないと思うので、決勝は謙汰だけ意識して走ります』

BEAT the RIVALS

ピレリ旋風が巻き起こっている ST600クラス

今年も全日本一の激戦区となっているST600クラス。今回の開幕戦筑波はピレリ旋風が巻き起こっている。ポールポジションの新垣敏之を始め、トップ10の中で何と8台を占めているのだ。グリッド全体でもピレリが17台、ブリヂストンが8台、ダンロップが5台と半数以上となっている。昨年も、ピレリのよさは話題に上がっていたが、今回の筑波ラウンドほどピレリが上位を独占したのは全日本史上初めてのことだろう。逆にブリヂストンユーザーで初めてST600のレースに臨む中上貴晶が5番手につけていることは健闘しているといえる。ダンロップで58秒8をマークしている中冨伸一と大崎誠之もライダーの頑張りが光っている。ただ、今までのコースレコードは2005年に辻村猛がマークしたもの。5年振りにタイムが更新されたということは、予選が雨の年もあったが、今までタイヤもマシンも進化が足踏みしていたとも言えるだろう。ピレリを履いた若いライダーが、後方からスタートするベテラン勢と、どんな戦いを繰り広げるか!? エキサイティングなバトルが見られそうだ。

ピレリのコントロール性のよさをアピールする新垣

MFJ Superbike Round1 **SUPERBIKE RACE in TSUKUBA** 3-4 April 2010　公式予選結果

JSB1000 / J-GP2

●予選：天候／曇　路面／ドライ　出走28台
●決勝スタート／14:10（30周）

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	6	JSB	亀谷 長純	Honda DREAM RT 桜井ホンダ	CBR1000RR	56.093
2	634	JSB	高橋　巧	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR1000RR	56.191
3	64	JSB	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	56.245
4	33	JSB	伊藤 真一	KeihinKoharaR.T.	CBR1000RR	56.270
5	1	JSB	中須賀 克行	YSPRacingTeamwithTRC	YZF-R1	56.344
6	87	JSB	柳川　明	TEAM GREEN	ZX-10R	56.693
7	45	JSB	武田 雄一	TAIRARacing	YZF-R1	56.972
8	48	JSB	出口　修	PLOT PANTHERA	GSX-R1000	57.388
9	51	JSB	高橋 英倫	BEET RACING	ZX-10R	57.561
10	16	JSB	東村　伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	57.671
11	32	JSB	新庄 雅浩	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000	57.941
12	23	JSB	高橋 孝臣	MOTO BUM HONDA	CBR1000RR	58.065
13	21	JSB	山中 正之	Honda明和レーシング	CBR1000RR	58.067
14	73	J-GP2	小西 良輝	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	58.134
15	83	JSB	中村 知雅	中村Eng&ジャパンプランニング	CBR1000RR	58.260
16	15	JSB	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	1098R	58.531
17	88	JSB	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING	YZF-R1	58.724
18	17	JSB	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎B'WISER.T	CBR1000RR	58.781
19	25	JSB	原田 洋孝	R.S.ガレージハラダ姫路	ZX-10R	58.789
20	41	J-GP2	宇井 陽一	41PLAN/PRO-TEC	YZF-R6	59.171
21	99	JSB	戸田　隆	G-TRIBE	S1000RR	59.315
22	36	JSB	鈴木 大五郎	ビューエルレーシング	1125R	59.453
23	86	JSB	中村 勇志	ピレリ・丸冨オート	1190RC8R	59.552
24	55	J-GP2	生形　秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-R600	59.659
***** 以上予選通過 *****						
25	93	J-GP2	高橋 江紀	バーニングブラッドRT	RBB6	59.715
26	76	JSB	岡田 州生	DELUXE&グリーンイーグル	1098S	59.817
27	37	JSB	喜多田 学	TS関東+㈲成田総合サービス	CBR1000RR	1'00.265
28	49	JSB	玉田 耕司	J-TRIPwithモトルネ	1190RC8R	1'00.793

基準タイム 1'01.793 - 110%

J-GP3

●予選：天候／曇　路面／ドライ　出走35台
●決勝スタート／10:40（25周）

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	23		鎌田　悟	ENDURANCE +桶川スポーツランド	RS125R	1'00.888
2	6	Youth	大久保 光	18 GARAGE RACING TEAM	RS125R	1'01.027
3	11	Youth	篠崎 佐助	チーム テック2	TZ125	1'01.031
4	5		岩田 裕臣	TEAM PLUS ONE	RS125R	1'01.086
5	8		柳沢 祐一	18 GARAGE RACING TEAM	RS125R	1'01.146
6	7		矢作 雄馬	桶川塾&ENDURANCE	RS125R	1'01.198
7	1		菊池 寛幸	WHEELIEwith KRT	RS125R	1'01.239
8	29	Youth	渡辺 陽向	Projectμ7C HARC	RS125R	1'01.255
9	12	Youth	長島 哲太	Projectμ7C HARC	RS125R	1'01.448
10	36		引沼 雄太	KTR-SC&桶川塾	RS125R	1'01.563
11	91	Youth	森　俊也	racing sayama	RS125R	1'01.565
12	71		安村 武志	チーム テック2	TZ125	1'01.609
13	64		籠島 欣雄	MUSASHI RACING	RS125R	1'01.655
14	13	Youth	浦本 修充	Team HARC.PRO.	RS125R	1'01.673
15	4		徳留 真紀	チームアライアンス&ハルクプロ	RS125R	1'01.717
16	10	Youth	山本 剛大	Team NOBBY	RS125R	1'01.723
17	77	Youth	野左根 航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	TZ125	1'01.777
18	53		人見 研吾	Y.U.Eレーシング	RS125R	1'01.858
19	17	Youth	藤井 謙汰	TSR	RS125R	1'01.917
20	15		仲城 英幸	Projectμ7C HARC	HP250RW *P	1'02.037
21	21	Youth	中本　翔	リリカAMENA with OUTRUN	RS125R	1'02.057
22	40		小川　亨	MUSASHI :R小川サービス	RS125R	1'02.075
23	16	Youth	大金 佑輝	ENDURANCE &桶川塾	RS125R	1'02.344
24	63	Youth	石崎 司也	18ガレージ&YRPレーシング	RS125R	1'02.361
25	35		大西　隼	Projectμ7C HARC	RS125R	1'02.481
26	27		天野 邦博	Honda狭山レーシングチーム	RS125R	1'02.529
27	46	Youth	渡邊　ユキ	TEAM YUI	RS125R	1'02.600
28	99		佐藤 正之	racing sayama	RS125R	1'02.644
29	76		高杉 奈緒子	モトバムwithヒポポタマス	RS125R	1'02.756
30	38	Youth	東　盾吾	i-FACTORY	RS125R	1'02.833
31	62	Youth	渡部 裕貴	RT森のくまさん佐藤塾	TZ125	1'02.922
32	37		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	RS125R	1'03.198
33	28		大塚 卓也	HondaブルーヘルメットMSC	RS125R	1'03.470
34	39		坂井 幸雄	Team SMOKY ぽん太	RS125R	1'03.557
35	44		小沢 良美	GARAGE.M&古市塾	RS125R	1'04.118
***** 以上予選通過（1'06.976 - 110%）*****						
	75		古市 右京	EUROPORT&ASPIRATION	RS125R	出走せず

※*Pはプロト

ST600

●予選：天候／曇　路面／ドライ　出走47台
●決勝スタート／11:45（25周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	20	新垣 敏之	TeamARA 虎の穴	YZF-R6	R58.235
2	52	豊田 浩史	D;REX	YZF-R6	R58.544
3	53	岩﨑 朗	岩﨑Ⅲ兄弟☆aZ☆日光SC	CBR600RR	R58.561
4	31	岩﨑 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	R58.667
5	73	中上 貴晶	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	R58.670
6	39	阿久津 晃輝	2りんかんRT+DFR	YZF-R6	58.725
7	30	山口 辰也	モリワキクラブ	CBR600RR	58.746
8	19	國川 浩道	92R・HiRaNo	CBR600RR	58.790
9	34	大木 崇行	Team ARA 虎の穴	YZF-R6	58.820
10	2	中冨 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	58.848
11	634	小林 龍太	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	58.878
12	75	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	58.893
13	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	58.950
14	3	佐藤 裕児	HiTMANRC甲子園 ヤマハ	YZF-R6	59.022
15	35	中山 真太郎	ATU.AKIteamしんたろうwithKR	CBR600RR	59.073
16	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	CBR600RR	59.103
17	44	斉藤 一輝	ウイングヨシイRC	CBR600RR	59.131
18	705	黒川 武彦	松本クリニックVIPBスピード	ZX-6R	59.156
19	37	医王田 章弘	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	59.244
20	1	手島 雄介	TSRwithALT	CBR600RR	59.281
21	13	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	CBR600RR	59.290
22	11	渡辺 一馬	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	59.302
23	26	稲垣 誠	AKENO SPEED	YZF-R6	59.307
24	36	徳留 和樹	バーニングブラッドRT	CBR600RR	59.432
25	91	中山 智博	RS-ITOH	ZX-6R	59.458
26	49	須磨　貞仁	H.M.F	GSX-R600	59.460
27	28	東浦 正周	TeamTAROPLUSONE	CBR600RR	59.542
28	77	岡嶋 晋也	RS-ITOHGTMM丸進金属	ZX-6R	59.591
29	71	鈴木 貴雄	CLUB ARA 虎の穴	CBR600RR	59.624
30	76	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING	YZF-R6	59.736
***** 以上予選通過 *****					
31	79	高野 あかし	TeamARA 虎の穴	YZF-R6	59.748
32	27	中津原 尚宏	研友会.栃木PGレーシング	CBR600RR	59.758
33	6	岩田 悟	TSR	CBR600RR	59.845
34	33	深津 拓真	PLOT PANTHERA	GSX-R600K8	59.940
35	43	小田 茂昇	エスパルスドリームレンジャー	GSX-R600	59.985
36	81	佐藤 周	MST★TAMITON-R	ZX-6R	1'00.062
37	57	横山 耕二	CLUB HARC-PRO.	CBR600RR	1'00.152
38	8	清水 直樹	MST★TAMITON-R	ZX-6R	1'00.184
39	51	中村 豊	TEAM PLUS ONE	CBR600RR	1'00.208
40	72	宮崎 敦	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'00.216
41	69	矢田 栄一朗	モトバム&レッドフェザーヨシダ	CBR600RR	1'00.310
42	56	中本 郡	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'00.330
43	38	小菅 岳大	CLUB HARC-PRO.	CBR600RR	1'00.445
44	46	山村 良憲	GBSレーシング	YZF-R6	1'00.563
45	14	津田 拓也	West Power	GSX-R600K8	1'00.569
46	32	比企 徹	レーシングサプライ舶斗雲	GSX-R600LO	1'01.388
47	70	稲垣 尚樹	DOG FIGHT RACING	YZF-R6	1'01.512

A組1回目基準タイム（1'04.497 - 110%）　A組2回目基準タイム（1'04.398 - 110%）
B組1回目基準タイム（1'04.198 - 110%）　B組2回目基準タイム（1'04.058 - 110%）
"R" マークは、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 58.678

GP-MONO

●予選：天候／晴　路面／ドライ　出走22台
●決勝スタート／15:20（18周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	2	小室　旭	TeamKOMUROwithHARC	HP250RF	1'01.347
2	3	藤井 謙汰	TSR	ACH250M	1'01.412
3	6	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	HP250-ハルク	1'02.410
4	17	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	MD250H	1'02.544
5	45	川野 泰成	新日本エナジー/プリミティブR.T	PRCS250F	1'02.660
6	28	瀬古 直樹	ZIPBIKE&TOS-R	ZBMONO	1'02.691
7	35	森田 直樹	Projectμ7C HARC	HP250RF	1'02.738
8	18	松井 洪称	TEAM PLUS ONE	ハルクGPMR	1'02.749
9	46	星野 知也	ミクニiBeatテリー&カリー	MIH	1'02.753
10	22	江崎屋 学	犬の乳酸菌.JP/PRCS	YZ250F	1'02.875
11	24	赤間　清	CLUB HARC-PRO.	HP250F	1'02.912
12	26	岡崎　智	team KAZUMA	GPMR250X	1'03.167
13	73	中臺 翔太	TeamKOMUROwithHARC	HP250RF	1'03.200
14	23	畑中　要	FTR・タイヤナビ・Big☆敦	YZ250F	1'03.506
15	36	松江 保幸	TeamProjectμ7C	HP250RF	1'03.617
16	96	田中　聡	パワーバイブレーシング	PP-RMZ250	1'03.704
17	41	岡崎 静夏	GarageMoMo&iF	HP250RF	1'03.894
18	65	繁野 明治	ホットバンクUSA&GET HOT	YZ250F	1'04.251
19	71	大迫 敏信	TEAM PLUS ONE	モリワキMD250	1'04.703
20	64	小倉　弘	TS関東&㈱小倉電設	MD250H	1'04.790
21	51	増田 顕也	クラブM+松田塾+獺RT	RBB-MONO	1'05.068
22	72	岩本 有司	㈲岩本商事+Kfb/PRCS	PRCS250F	1'05.316
***** 以上予選通過（1'07.895 - 110%）*****					

INFORMATION

ライダートークショーなど、ステージイベント盛りだくさん！

メインスタンド・最終コーナー側ステージカーで開催!!

<ライダートークショー>
●日時：4月4日（日）
①11:15～（JSB1000）
②13:45～（J-GP3・ST600優勝メッセージ）
②16:10～（JSB1000・J-GP2・GP-MONO優勝メッセージ）

<キャンギャルオンステージ>
●日時：4月4日（日）① 9:00～　②14:50～

※天候その他の理由により、予告なしに変更・中止になる場合があります。

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

9:45 -	ルーキーズ Heat2（決勝レース）.....10Laps
10:25 -	J-GP3 コースイン～選手紹介
10:40 -	**J-GP3決勝レース.....25Laps**
11:30 -	ST600 コースイン～選手紹介
11:45 -	**ST600決勝レース 25Laps**
12:35 -12:55	Taste of Tsukuba（T.O.T.）　デモ走行
13:05 -13:45	ピットウォーク・コースウォーク　※パドックパスがあれば、どなたでも無料で参加OK!!
13:55 -	JSB1000/J-GP2 コースイン～選手紹介
14:10 -	**JSB1000/J-GP2決勝レース.....30Laps**
15:05 -	GP-MONO コースイン～選手紹介
15:20 -	**GP-MONO決勝レース.....18Laps**

★激感エリア～Bパドック内ダンロップコーナー奥～筑波ならではの"超・接近観戦エリア"　※要パドックパス

MFJプロモーション委員会事務局：東京都中央区築地3丁目11番6号　築地スクエアビル10階　TEL：03-5565-0900　2010年4月4日（日）発行　●オフィシャルサイト　http://www.mfj.or.jp/　●オフィシャルファンサイト　http://superbike.jp/